



2026年2月12日

各 位

会 社 名 第一稀元素化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 國部 洋
(コード番号：4082 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員 管理本部長
大内 公夫
TEL. (06) 6206-3311

業績予想の修正及び営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ

当社は、2025年10月31日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想について、下記のとおり修正いたします。また、2026年3月期第3四半期連結会計期間（2025年10月1日～2025年12月31日）において営業外収益（為替差益）を計上しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 34,000	百万円 2,400	百万円 1,200	百万円 1,000	円 銭 41.26
今回修正予想（B）	35,300	3,200	2,400	1,700	70.16
増減額（B－A）	1,300	800	1,200	700	—
増減率（％）	3.8	33.3	100.0	70.0	—
（ご参考）前期実績 （2025年3月期通期）	33,641	2,282	632	792	32.64

（業績予想修正の理由）

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～12月31日）において、当社グループの主要顧客である自動車業界では、自動車排ガス浄化触媒が使用される内燃機関搭載車の販売台数は伸び悩んだものの、高い触媒特性が求められるハイブリッド車は堅調に推移したこと等により、当社グループの販売数量および売上高は、増加いたしました。

また、当第3四半期連結会計期間（2025年10月1日～12月31日）においては、売上原価並びに経費の発生時期が第4四半期連結会計期間（2026年1月1日～3月31日）へ後ずれした影響もあり、第1四半期および第2四半期と比較して営業利益が一時的に大きく増加いたしました。

通期業績予想につきましては、現時点では前回公表予想を上回る見込みであるものの、第4四半期に後ずれした売上原価・経費を織り込んだ水準としております。通期業績予想における為替レートは、1米ドル151円を前提としております。

なお、期末配当予想につきましては、変更の予定はございません。

2、営業外収益（為替差益）の内容

2026年3月期中間連結会計期間(2025年4月1日～9月30日)において、為替差損626百万円を営業外費用に計上しておりましたが、その後の為替相場の変動により、2026年3月期第3四半期連結会計期間(2025年10月1日～12月31日)においては791百万円の為替差益を計上いたしました。これは、当社が保有する外貨建資産・負債に対し発生したものであり、今後の為替相場の状況によりこの金額は変動いたします。

上記の結果により、2026年3月期第3四半期連結累計期間において営業外収益に計上する為替差益は164百万円となりました。164百万円の為替差益のうちベトナム事業に係る長期末収入金の為替差益が154百万円ありますが、当該長期末収入金には全額貸倒引当金を計上しているため、その為替差益と同額を営業外費用(貸倒引当金繰入額154百万円)として計上いたしました。加えて、ベトナム子会社への外貨建貸付金に係る為替変動リスクの軽減を目的としたデリバティブ取引を行っており、営業外費用(デリバティブ評価損)247百万円を計上いたしました。これらの結果、2026年3月期第3四半期連結累計期間における実質的な為替差損益は237百万円の為替差損となります。なお、当社は今後の為替相場の不透明感に伴う為替変動リスクへの対応策として、上記のデリバティブ取引に加え、通常の商取引より発生する債権に対して為替予約取引を導入しております。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日時点で入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。なお、営業外収益につきましては、本日公表の2026年3月期第3四半期決算短信[日本基準](連結)に反映しております。

以上